

民間提案事業サポートデスクを活用した協働事例の一覧

事例	実施年月	分野	提案者名	提案事項名	提案・相談の概要	実施した内容
1	R3.5～	その他	第一生命保険(株)	とっとり花応援プロジェクトと連携したとっとり花回廊のPR	新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けた花農家や生花店を応援する目的で、営業職員が月に2回県内全域を対象に希望のあったお客様にお花をお届けする「とっとり花応援プロジェクト」を行っている。花に関連した応援の取組として、とっとり花回廊に関する情報についても、当該お届け時にパンフレット等を一緒に手渡す等によりPRすることができる。	「とっとり花応援プロジェクト」の取組にあわせて、とっとり花回廊のイベントPRチラシや花の種を一緒に配布することで、花き事業の振興ととっとり花回廊のPRにつながった。
2	R3.7	医療・福祉	第一生命保険(株)	がん対策講演会の開催に関する連携	新型コロナウイルスとがんについて、最新のエビデンスに基づいたがん情報を身近な話題を盛り込んで分かりやすく説明するWebセミナーを開催するにあたり、県のがん対策の取組や受診率向上を呼びかけるメッセージ動画を流したい。	Webセミナーにあわせて、県のがん対策の取組や受診率向上に向けて、がん検診の受診を呼びかけるビデオメッセージを発信した。
3	R3.7	農業・農地	日本郵便(株)	のぼり旗等を活用した県の梨のPR	鳥取県の梨生産者を応援し、全国に県の梨をPRする目的で、県在住のイラストレーター2名と協力のうえ、のぼり旗やポスターを作成したので、連携して梨のPRに役立てたい。	のぼり旗やポスターを県外本部(東京本部・関西本部・名古屋代表部)で活用。
4	R3.8～	医療・福祉	N.K.C ナーシング コアコーポレーション(合)	SNSを利用したヤングケアラーの支援	令和3年度から鳥取県が県内3か所にヤングケアラーの相談窓口を設置したが、学業や就労により平日の日中に相談しにくいヤングケアラーが存在する。夜間や休日の時間帯に相談できるよう、県と連携してSNS上に相談窓口を設置したい。	令和3年度に試験的にヤングケアラーLINE相談窓口を設置。令和4年度は当該試験結果を踏まえ、24時間365日受け付けとするLINE相談窓口を県予算により設置し、令和4年6月13日から対応を開始した。
5	R3.9～	その他	山陰スバル(株)	山陰スバル株式会社と星取県のコラボ企画	スバルの新たな安全安心システム「STARLINK(スターリンク)」という名称が、鳥取県が推進する星取県との繋がりを連想させることから、地域・社会への貢献として、星取県のPRを連携して行いたい。	スバル車両に星取県ラッピングを施したスターライトタクシーを、県内で催される星取県に関するイベント(星空観察会など)へ貸出・展示し、星取県のPRにつながった。
6	R3.11～	その他	第一生命保険(株)	第2回とっとりのお国自慢サラ川(川柳)の実施	第一生命の「サラリーマン川柳コンクール」と鳥取県がコラボした取組として、鳥取県の特産品・観光・食・地域イベント等のPRにつながる川柳を募集する「とっとりのお国自慢サラ川」を県と連携して開催したい。	鳥取県の特産品・観光・食・地域イベント等のPRにつながる入選作品の紹介を通じ、再発見された鳥取の魅力を県内外にPRし、鳥取を元気に盛り上げることに繋がった。また、入選作品については、とっとり・おかやま新橋館や県庁県民家でパネル展示を行い県のPRに活用した。
7	R4.2～	環境・衛生	花王グループカスタマーマーケティング(株)	清潔・美・健康の分野における地域課題の解決等	民間事業者のノウハウを活かし、プラスチックごみ等の環境分野や手洗い等といった衛生・感染予防分野、スキンケアメイクといった美容・社会分野に関する取組を行い、鳥取県の課題解決を目指したい。	令和4年2月1日に倉吉北高校において「新社会人好印象の身だしなみセミナー」を、同年8月23日に米子コンベンションセンターにおいて「60歳からの身だしなみメイクセミナー」を開催した。
8	R4.3～	その他	(株)ジャパナビディスプレイ	県の施設における「透明ディスプレイ」に関する実証実験	透明ディスプレイと言語(音声)を文字変換しディスプレイに表示させるアプリを使用し、きこえない・きこえにくい人との意思疎通を容易にさせる実証実験を県の施設で行いたい。	試験設置の結果、普段筆談等でやりとりしている人にとって、透明ディスプレイの会話は時間の短縮になり良かった等の肯定的な声が寄せられ効果が認められたため、令和4年度県予算により、今後県内約20施設程度に透明ディスプレイの配置又は貸出しを行う予定。
9	R4.3～	土地・施設利用(農地除く)	(株)妖怪企画	みなとさかい交流館2階展示ホールの民間事業者による有効活用	鉄道(JR境線)と船(隠岐汽船)の玄関口に位置する「みなとさかい交流館2階展示ホール」について、民間事業者のノウハウ等を活かした事業展開や柔軟な対応を行うことにより、地域の賑わい創出を図りたい。	水木しげるロードと一体となった賑わい創出を図る取組を公募した結果、令和4年7月16日にお化け屋敷や迷路、スタンブラリー、宝探しなどの要素を備える「鬼太郎妖怪倉庫第三章」がオープンした。
10	R4.6～	その他	(株)クラウドシエン	自治体と民間企業をつなぐプラットフォームに関する実証実験	自治体と民間企業の連携を推進するプラットフォームの構築に向けて、官民連携に関心の高い全国の民間事業者に向けて行政情報を発信するウェブサービス「ローカルハブ」を開始するので、当該サービスを活用した官民連携推進事業の実証実験を県と連携して行いたい。	令和4年6月1日から令和5年3月末まで、ローカルハブのウェブサービスを通して「民間提案事業サポートデスク」や「鳥取砂丘月面化プロジェクト」などの県の行政情報を発信中。
11	R4.7～	農業・農地	(株)読売新聞大阪本社、日本海テレビジョン放送(株)	農業に関わる人々を応援し、持続可能な未来を考える「農プロジェクト」と県との連携	農業分野に焦点をあてた多面的な編集記事や事業、企画などを展開し、農業に関わる人々の応援や持続可能な未来を考える「農プロジェクト」と、農業が盛んな鳥取県との連携により、農村と都市・地方と都市をつなぐ取組を進め、農業や地方の活性化を図りたい。	令和4年9月7日に農業・農村の振興に関するパートナーシップ協定を締結。また、パートナーシップ協定の締結に先立ち、県産品や観光情報のPR協力として、同年7月に東京ドームで開催された巨人軍主催試合を県が「とっとりデー」として協賛した。協定締結後においては、都市と農村交流の促進の一環として12月に「とっとりジビエ体験ツアー」を実施し、令和5年1月には農山村からの都市への情報発信の取組として、「農山村を支える新たな力」をテーマとした全国配信のオンラインシンポジウムを開催した。
12	R4.9～	教育・文化	ソフトバンク(株)	全国高校生手話パフォーマンス甲子園に関する連携	全国の高校生が手話言語を使った様々なパフォーマンスを繰り広げ、その表現力を競う「全国高校生手話パフォーマンス甲子園」の開催にあたり、県と連携を図りたい。	優勝校のコメントや手話に関する県の取組、手話を文字化するアプリの実証実験に関する記事をWebマガジンに掲載し、手話パフォーマンス甲子園のPR等につながった。また、アプリの開発の一助となるよう今後も連携を継続していく。
13	R4.11	環境・衛生	花王グループカスタマーマーケティング(株)	衛生、多様性、環境、健康分野を主とした社会課題解決に向けた取組に関する連携	衛生、多様性、環境、健康など幅広い分野で連携を強めていきたい。	令和4年11月19日に米子コンベンションセンターで開催した県主催の環境問題意識啓発イベント「とっとりエコフォーラム」において、子ども向けeco活動啓発の企業ブースを出展した。
14	R5.2～	雇用・労働	第一生命保険(株)	「女性の就業意識アンケート」に関する連携	女性の就業意識に関するアンケートの実施に関して、県と連携を図りたい。	アンケート項目に県の意見を反映してもらい、県内在住の女性を対象としたアンケートを実施。アンケート結果は個人情報を除いて県に共有され、県施策の参考にしていく。
15	R5.3～	その他	(株)メルカリ、(株)ソウゾウ	企業の資源・ノウハウ等を活用した自治体との連携	県産品の流通・販売支援、教育の推進、災害時の支援など、自社のツール・ノウハウを活かして県と連携したい。	令和5年3月8日に倉吉未来中心において、県産品の流通・販売支援として、かんたんにネットショップを開設できる「メルカリShops」の活用セミナーを県内事業者が参加して開催した。
16	R5.4～	雇用・労働	スマートワーク(株)	デジタル関連の人材育成・仕事供給・産業振興に向けた連携	同社知見・ノウハウを活かして、デジタル関連の人材育成や仕事創出等で県と連携したい。	類似の取組を進める複数の民間事業者も加え、県内のリモートワーカーを育成し、求職者や非正規労働者等の所得向上を目的とした事業を、令和5年度予算により事業化。